

# 広 報

令和2年12月20日発行 臨時号



発 行：大沼学区コミュニティ推進会  
 責 任 者：会 長 神谷 九二男  
 大沼交流センター内 TEL (35)8831

## 災害に備えて・・・研修会を実施しました

### 防災部

当初予定していた総合防災訓練は新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、これに代え、防災部の支部長・副部長を対象に研修会を実施しました。

- (1)日時：11月7日(土) 9：30～11：00
- (2)場所：大沼小学校 第2グラウンド
- (3)研修内容：下記

- ①新しい避難方法の説明およびコロナ禍での避難所における対応と感染防止を考慮した新防災資材の組み立て実演・・・市役所の防災対策課職員より説明および組み立ての実技指導を受けました。
- ②救命救出訓練・・・簡易担架の組み立てと取り扱いおよび三角巾の扱いについて防災部救出救護部長の栗生氏による実技指導。

コロナ禍では感染防止を考慮した避難が必須であり、これに対応した新防災資材の扱い方法を習得したことはとても良い研修会になりました。



## 二まちの情報板＝

### 中ノ沢公園をきれいにする会

#### 中ノ沢公園の生い立ちについて

当園は平成11年に、「中ノ沢調整池」として市が直接管理していたころ、きれいにしたいとの思いで大沼小学校の当時5・6年生の児童が中心となって清掃作業をやりだし、やがてPTA、大沼学区コミュニティ推進会の関係者、地元住民も参加して不法投棄されていた自転車などのゴミを除去し、除草作業や水周りの整備を行い、名称も「中ノ沢公園」と改められました。



(重機を使用しての整備作業)

水場には橋がかけられ、花壇の整備によって四季折々の花が咲き、池にはザリガニ・フナ・メダカが放流され、水辺の生き物の種類も多くなりました。

やがて、渡り鳥も飛来し、時には溪流の宝石といわれるカワセミも見かけるようになり訪れる人々の目を楽しませるようになりました。

さらに「大沼学区ホタルを育てる会」のメンバーが中心となり、ふるさとにホタルを甦らせるためにエサとなるカワニナを放流し、平成13年には見事にホタルが飛び交うほど自然に恵まれた環境までになりました。努力の甲斐があって平成13年7月3日付の読売新聞県北版に「20年ぶりにホタルの姿」と題して記事が紹介されました。



平成13年7月3日の読売新聞県北版、わが故郷に20年ぶりのホタルの姿

(写真は平成13年7月3日付の読売新聞の記事)

このように地元で親しまれる中ノ沢公園であり、再びホタルの生育を目指してボランティアによる整備作業を定期的に行っています。整備作業の実施については今後も広報紙で案内しますので、多くの方の参加をお願いします。

(写真は大沼学区ホタルを育てる会の資料を流用)

## 令和2年度12月下旬～3月 主な事業計画・実施状況 (12月14日現在)

(今後、新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業の中止・延期があります)

月	日	コ ミ 進 事 業	日	交流センター・東金沢体育館事業
12	—	—	—	改修工事に伴い、駐車場は9台に制限されています。来館される場合は出来るだけ徒歩や自転車を利用し、車の場合は乗り合いでお願いします。
R3 1	17(日)	ふれあいお楽しみ会	中止	
	18(月)	健康体操(1/18～2/22)	中止	
	23(土)	ボウリング大会	中止	
2	7(日)	地区懇談会	中止	
	21(日)	役員会	中止	
3	14(日)	役員会	—	